

## 国に対し「消費税インボイス制度の中止を求める意見書」の提出を求める陳情書

### 【陳情趣旨】

2023年10月から開始予定のインボイス(適格請求書)制度導入に先駆け、今年10月からインボイス発行事業者の登録申請が始まっています。

一方、この間の消費税増税や、新型コロナウイルスの影響による業況悪化に加え、資材の高騰、急激な円安などで中小企業は大変に苦しんでいます。そこにインボイス制度が加わるとどのようなようになるのでしょうか。

例えば、年間課税売上300万円のサービス業者が、同制度により簡易課税での納税を選択した場合、利益にかかわらず15万円の消費税を負担する計算となります。これでは事業も生活も成り立たなくなってしまう。

また、すでに課税業者である人も、発注先が免税業者である場合「課税業者になってもらうか、自らが消費税分を負担するか」の選択を迫られます。これにより長年積み重ねてきた商売上の関係性が失われる可能性があります。加えて、多くの業者が税の滞納・強制換価、廃業を余儀なくされてしまうことにもなるでしょう。制度が始まれば免税業者も課税業者も、大きな損失を被ることになるのです。ひいては商売によって成り立っていた「地域のつながり」も失われることになりかねません。

地域経済の振興には、自由で多様な事業者の存在が不可欠です。税制によって商売に悪影響があつては、業者の生業はもちろん、健康で文化的な生活も保障できません。

よって、インボイス制度の実施中止を強く求めます。

以上の趣旨から下記事項について陳情いたします。

### 『陳情事項』

- 一、2023年10月1日から導入される『インボイス制度』の中止を求める意見書を政府に送付していただくこと